

1 本館

◆飛鳥川みつき

論文 「『あなたの肖像—工藤哲巳回顧展』の広報について」／『現代の眼』606号

◆一條彰子

論文 「オーストラリアの美術館における鑑賞教育」(共著者：国立西洋美術館主任研究員・寺島洋子)／『日本美術教育研究論集』48号(日本美術教育連合、2015年3月31日)

発表 「所蔵作品を用いた米国・豪国の鑑賞教育事情」(共同発表者：寺島洋子)／美術科教育学会(会場：上越教育大学、2015年3月29日)

発表 「オーストラリアの美術館における鑑賞教育—所蔵作品を活かしたスクールプログラム」(共同発表者：寺島洋子)／日本美術教育研究発表会(拡大枠)(会場：東京家政大学、2014年10月19日)

発表 「国立美術館・博物館のコレクションを用いた鑑賞教育の展開」(共同発表者：聖徳大学教授・奥村高明)／美術科教育学会(会場：上越教育大学、2015年3月29日)

◆大谷省吾

論文 「鬚光の細密素描《作品》の制作時期をめぐって」／『現代の眼』607号

論文 『日本の20世紀芸術』(共著)／(平凡社、2014年11月15日)

論文 「回顧と展望 2013年の歴史学会 日本(近現代) 14 美術」／『史学雑誌』123編5号(史学会、2014年5月20日)

論文 「北荘画廊をめぐって—戦前と戦後をむすぶ場所」／『近代画説』23号(明治美術学会、2014年12月13日)

論文 「多様化する美術のなかで——公募団体ベストセレクション 美術2014によせて」／『公募団体ベストセレクション 美術 2014』図録(東京都美術館、2014年5月4日)

論文 「白昼に夜を見つめた人——矢崎博信の絵画と思想」／『生誕100年 矢崎博信展』図録(茅野市美術館、2014年7月26日)

論文 「「第2回都美セレクション グループ展」をふりかえって」／『第2回都美セレクション グループ展 記録集』(東京都美術館、2014年7月31日)

発表 「シュルレアリスムの影響を受けた日本の画家たちの、シュルレアリスムからの逸脱のあり方について：鬚光、浅原清隆を例に」／筑波大学芸術学美術史学会(会場：筑波大学、2014年4月19日)

発表 美術を語る「矢崎博信」／生誕100年 矢崎博信展(会場：茅野市美術館、2014年8月2日)

発表 「東京国立近代美術館の戦争記録画とその周辺」／BankARTschool「戦争と美術」(会場：BankART Studio、2015年1月26日)

◆蔵屋美香

論文 「新しいコレクション アレクサンダー・カルダー《モンスター》」／『現代の眼』609号

論文 「切った貼ったの世界の修復」／『絵画の在りか』展図録(オペラシティアートギャラリー、2014年7月12日)

論文 “Who is Kishida Ryusei? A case study of a Taisho-era Yoga painter” / *Andon: Shedding Lights on Japanese Art*, no.97 (Society for Japanese Arts, Rotterdam, The Netherlands, 2014.9)

論文 「サロンと中村屋」/『中村屋サロン—ここで生まれた、ここから生まれた—』展図録(中村屋サロン美術館、2014年10月29日)

論文 「図と地と戦争：奈良美智の絵画」/『YOSHITOMO NARA: SELF-SELECTED PAINTINGS』(青幻舎、2015年3月1日)

論文 「B.ヴェネツィアがみた日本の現代アート 1. 多様性の中の現在」/『Artistic Practice』(東京アートフェア小冊子、2015年3月20日)

論文 「MOTコレクション つくる、つかう、つかまえる—いくつかの彫刻から」関連プログラム「高柳恵里の作品について—対談：高柳恵里×蔵屋美香」採録(高柳恵里・鎮西芳美)/『平成26年度東京都現代美術館年報 研究紀要 第17号』(2015年3月31日)

論文 「座談会：日本からキュレーションの未来を考える」(黒瀬陽平・新藤淳・松井茂)/『これからのキュレーション』(フィルムアート社、2015年2月25日)

論文 「考えつづけること、位置を確認すること ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館をめぐって」(田中功起・藤井光)/『必然的にばらばらなものが生まれてくる』(武蔵野美術大学出版、2014年9月9日)

展覧会カタログ 「高松次郎ミステリーズ」展 「まえがき」、「標的は決してその姿をあらわさない 1964-1970s」、2章解説、作品解説、年譜/「高松次郎ミステリーズ」展

発表 講演会「経験を捉え、形にし、伝えるということ—ヴェネチア・ビエンナーレを中心に」/ (会場：日本大学芸術学部、2014年4月18日)

発表 「TWS Emerging第一期：本田アヤノ・清水香帆・衣真一郎」/ TWS Emerging 212,213,214 (会場：トーキョウワンダーサイト渋谷、2014年8月9日)

発表 講演会「ヴェネチア・ビエンナーレに参加して：経験を世界に伝えるということ」/ (会場：金沢美術工芸大学、2015年1月9日)

発表 「高松次郎 読書会」/ 猫町倶楽部読書会 (会場：猫町倶楽部、2015年1月31日)

発表 「学校を出て、この先わたしはどんなふうに美術とつきあって行くのだろう」/ 東京五美術大学連合卒業・修了制作展 (会場：国立新美術館、2015年2月21日)

発表 「日米キュレーター・ミーティング プレゼンテーション」(Gabriel Ritter他参加者計11名)/ 日米キュレーター・ワークショップ (会場：ダラス美術館、2015年3月26日-27日)

発表 講演会「芸術からの問い—デュシャンから高松次郎まで」(いとうせいこう)/ (会場：青山ブックセンター本店、2015年2月14日)

発表 講演会「現代アートを知りつくす ヴェネチア・ビエンナーレに参加して：経験を世界に伝えるということ」(宮津大輔)/ (会場：京都造形芸術大学東京芸術学舎、2015年1月28日)

発表 「旅の行方≡栄螺堂」(五月女哲平・森田浩彰)/ 「旅の行方≡栄螺堂」展 (会場：3331ギャラリー 3331 Arts Chiyoda、2014年10月25日)

発表 公開座談会「日本からキュレーションの未来をさらに考える」(黒瀬陽平・新藤淳・松井茂)/ (会場：紀伊国屋書店新宿本店、2015年3月20日)

発表 「ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展 日本館のキュレーションができるまで」(小澤慶介・中野仁詞)/ 東京アートフェア (会場：東京国際フォーラム、2015年3月21日)

発表 「地震のあとで、何かがおこってる：東京国立近代美術館MOMATコレクションのころみ」(小澤剛・川延安直・藤井光)／美術史学会美術館・博物館委員会シンポジウム「裂ける日常、断たれる記憶—福島をつなぐアート/ミュージアム」(会場：福島県立美術館、2015年3月29日)

発表 レクチャー「『絵画』について」(沢山遼)／(会場：ハギワラプロジェクト、2014年7月12日)

発表 「遠くの観客に訴えるための方法：二つのプロジェクト」(田中正之/平野到/イェンツ・ホフマン/マリア・リンド)／キュレーター・ミーティング2015 (会場：CCA北九州、2014年9月26日-9月28日)

発表 トーク「高松次郎ミステリーズナイト」(保坂健二郎・榎田倫広)／(会場：六次元、2014年12月11日)

発表 「作品のマニュアルのマニュアル」(有元利彦・中川陽介・眞島竜男)／開館20周年記念トークセッション ARTISTS' GUILD 生活者としてのアーティストたち(会場：東京都現代美術館、2015年2月22日)

◆鈴木勝雄

論文 「新しいコレクション 山下菊二《あけぼの村物語》」／『現代の眼』605号

論文 「新しいコレクション 中西夏之《コンパクト・オブジェ》」／『現代の眼』609号

論文 基調講演「今、アジアの文化的連帯を想像するために」、『国際セミナー2014 Cultural Rebellion in Asia 1960-1980 報告集』(国際交流基金、2015年3月20日)

論文 「日本における『コンセプチュアル・アート』元年——一九六九年の言説空間から」／『美術フォーラム21』30号(醍醐書房、2014年11月30日)

展覧会カタログ 「美術と印刷物」／コレクションを中心とした小企画「美術と印刷物」

発表 国際セミナー2014 Cultural Rebellion in Asia 1960-1989／基調講演、パネル(国際交流基金、2014年9月30日-10月2日)

◆都築千重子

作品解説 「近代美術の眼 三上誠《冥》」／『読売新聞』(都内版、2014年4月11日)

作品解説 「近代美術の眼 川端龍子《角突之巻(越後二十村行事)》」／『読売新聞』(都内版、2014年5月9日)

◆鶴見香織

論文 「新しいコレクション 吉川霊華《離騒》」／『現代の眼』606号

論文 「新しいコレクション 川端龍子《新樹の曲》」／『現代の眼』610号

論文 「吉川霊華 離騒」／『国華』1424号(国華社、2014年6月20日)

論文 「第二九二回水曜講演会『鉄斎の山水、近代の山水』講演録」／『出光美術館 館報』168号(出光美術館、2014年8月31日)

論文 「鐔木清方の初期作品と小坂象堂、无声会」／『鐔木清方記念美術館叢書：15、鐔木清方の随筆『こしかたの記』を読む：その2』(鎌倉市鐔木清方記念美術館、鎌倉市芸術文化振興財団、2015年1月20日)

論文 「菱田春草 日本画の領域をひろげた春草の試み」／『月刊水墨画』8月号(四季出版、2014年7月3日)

論文 「色彩研究宣言 色への興味、新たな挑戦」、「色彩研究の実り《賢首菩薩》 これまでになかった配色の冒険」、作品解説、監修／『別冊太陽 日本の心222号 菱田春草 不熟の天才画家』(平凡社、2014年10月17日)

論文 「植物が登場するアートたち菱田春草 黒き猫」／『小原流插花』(財団法人小原流、2014年10月1日)

論文 「荒井経、研究と制作の交錯点」／『模写そして創造へ 荒井経の仕事』展図録(さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館、2014年11月15日)

作品解説 「近代美術の眼 吉川霊華《離騷》」／『読売新聞』(都内版、2014年6月13日)

展覧会カタログ 「菱田春草、15年余の実験」、章解説、作品解説、作品目録、落款書体チャート／「菱田春草展」

発表 「鉄斎の山水、近代の山水」／「富岡鉄斎展」(会場：出光美術館、2014年7月2日)

発表 「菱田春草展のみどころと春草作品」／(公財)新宿未来創造財団(会場：新宿区立新宿歴史博物館、2014年9月23日)

発表 「菱田春草展のみどころと春草作品」／(公財)江東区文化コミュニティ財団(会場：亀戸文化センターカメラホール、2014年9月30日)

発表 「菱田春草展のみどころと春草作品」／荒川区地域文化スポーツ部生涯学習課(会場：生涯学習センター、2014年10月1日)

発表 「菱田春草と落款と作品」／美術講座「21世紀から春草へのアプローチ」(会場：飯田市美術博物館、2015年3月22日)

◆中世古貴彦

論文 「現代美術展来館者のセグメント別特徴—東京国立近代美術館における来館者調査から—」／『東京国立近代美術館研究紀要』第19号

◆中林和雄

論文 「現実と絵画 赤塚祐二の方法をめぐる」／『東京国立近代美術館研究紀要』第19号

論文 「まじめふまじめ ポロックとウォーホル」／『Fuji Xerox Print Collection 1988-2014』図録(富士ゼロックス、2015年1月)

◆中村麗子

発表 「竹内栖鳳の風景表現の展開について」／美術史学会東支部例会(会場：東京大学本郷キャンパス、2014年4月12日)

発表 「横山大観 その人と芸術」／八王子市教育委員会(会場：八王子市生涯学習センター クリエイトホール、2014年11月25日)

◆細谷美宇

論文 「『こども美術館』—参加者の過ごした時間から学ぶ—」／『現代の眼』605号

◆保坂健二郎

論文 「『現代』におけるコレクターについて：宮津大輔氏、藤城里香氏に聞く(構成・文責)」／『現代の眼』608号

論文 「国立美術館と建築展」／『NACT Review 国立新美術館研究紀要』

1号(2014年11月28日)

論文 連載「美術」／『すばる』(集英社、2014年4月、6月、8月、10月、12月、2015年2月)

論文 連載「視線」／『朝日新聞』(朝日新聞社、2014年4月6日、5月11日、6月15日、7月20日、8月24日、10月5日、11月9日、12月14日、2015年2月1日)

論文 連載「良口雑言」／『疾駆』(YKG Publishing、2014年4月、7月、11月、2015年1月)

論文 「デュシャン以後の絵画：愛と弱さ」、監修／『絵画、それを愛と呼ぶことにしよう』(武蔵野美術大学、2014年4月)

論文 「アール・ブリュットの春」／『ころ』(平凡社、2014年4月)

論文 「書評 見識を映し出す怖い存在 『山下清と昭和の美術』」／(共同通信により各新聞に配信、2014年4月)

論文 「座談会<物語を旅する> 岡田利規×小沢剛×保坂健二郎×松井周(司会：相馬千秋)」／『フェスティバル/トーキョー13 ドキュメント』(フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局、2014年5月)

論文 「Graphic Designers, Be Anarchy!」／『Graphic Design in Japan』(六耀社、2014年6月)

論文 「現代美術のハードコアはじつは世界の「宝」である 保坂健二郎氏インタビュー」／ニュースサイト『シノドス』(シノドス、2014年7月)

論文 「Lost and Found in Translation: A Talk Between Sabine Schaschl and Kenjiro Hosaka」「What is Logical Emotion?」、作家解説、作品解説／『Logical Emotion: Contemporary Art from Japan』(Snoeck Verlag、2014.10)

論文 「十選 老いの力」／『日本経済新聞』(2014年10月17日、20日、21日、22日、24日、27日、28日、30日、31日、11月3日)

論文 「Licht im Schatten (oder andersherum): Miwa Ogasawaras Malerei」／『MIWA OGASAWARA - IM LICHT』(Verlag Kettler、2014.11)

論文 「時代を拓く建築展⑤ 展示空間という建築 ヘルツォーク&ド・ムーロンの建築展」／『建築雑誌』(日本建築学会、2014年11月)

論文 「参加型アート」「アール・ブリュット」——コミュニケーションのためのアートと、これからの美術館のかたち／『10+1 web site』(LIXIL出版、2014年11月)

論文 「2014年年末回顧 高まるアール・ブリュットへの関心」／『新美術新聞』(美術年鑑社、2014年12月21日)

論文 「雑感以上批評未満2」／『シェル美術賞展 2014』展図録(昭和シェル石油株式会社、2014年12月)

論文 「書評：ハンス・ブリントホルン『精神病患者はなにを創造したのか』」／『読売新聞』(2015年2月5日)

論文 「塔本シスコの芸術論—この世界においてすべては等価である」／『塔本シスコ 絵の手帖』(平凡社、2015年2月)

論文 「インタビュー」／『公立美術館におけるアール・ブリュット作品の普及・展示活動に関する調査研究事業報告書』(滋賀県立近代美術館、2015年3月)

作品解説 「近代美術の眼 日高理恵子《樹を見上げてVII》」／『読売新聞』(都内版、2014年9月12日)

展覧会カタログ 作家略歴・作品解説／「現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展：ヤゲオ財団コレクションより」

展覧会カタログ 「なぜ美術館でコレクターの展覧会が行われ、現代美術が

『世界の宝』と呼ばれたのか?、「ヤゲオ財団(台湾)理事長ピエール・チェンへのインタビュー」、「イントロダクション」、章解説/「現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展:ヤゲオ財団コレクションより」

展覧会カタログ 「それは『絵画』ではなかった 1970s-1998」、3章解説、作品解説/「高松次郎ミステリーズ」展

発表 「老いの力」/「アール・ブリュット☆アート☆日本2」展(会場:酒遊館(近江八幡市)、2015年3月7日)

発表 「アール・ブリュットとはなにか」/エンジン01文化戦略会議(会場:富山大学、2015年3月28日)

◆栴田倫広

論文 「作品研究 大下藤次郎の立つところ—一百年前の《穂高山の麓》を探して」/『現代の眼』608号

論文 「「不純」なる絵画たちと展覧会の在りか」/『美術手帖』(美術出版社、2014年9月)

論文 「鷹野隆大、高松次郎をとる」/『IMA ONLINE』、2014年12月16日/
<http://imaonline.jp/pickup/review/20141216/>

論文 「歴史を編み直す」/『キュレーションの現在』(フィルムアート社、2015年2月26日)

論文 「膨大な記録群 余白に息づかい 河原温NY個展を見て」/『朝日新聞』(2015年3月18日)

作品解説 「近代美術の眼 吉田博《新月》」/『読売新聞』(都内板、2014年10月10日)

作品解説 「近代美術の眼 山下菊二《射角キャンペーン 5月26日》」/『読売新聞』(都内板、2014年11月14日)

展覧会カタログ 「「点」、たとえば、一つの迷宮事件 1960-63」、1章解説、作品解説/「高松次郎ミステリーズ」

発表 「あれからの、未来の途中:アーティストトーク3」/(会場:京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、2014年12月23日)

◆増田玲

論文 「新しいコレクション 渡辺克巳《ゲイボーイ、新宿》」/『現代の眼』607号

論文 「三宅克己と『趣味』の写真」/『三宅克己回顧展』図録(徳島県立近代美術館、2014年10月11日)

論文 「大型化する現代写真作品の展示と保存:「アンドレアス・ゲルスキー」展などの事例をめぐって」/『日本写真学会誌』第78巻第1号(日本写真学会、2015年2月)

論文 Yutaka Takanashi, *Towards the City*/Yasufumi Nakamori with Allison Pappas ed., *For a New World to Come: Experiments in Japanese Art and Photography, 1968-1979*, (Museum of Fine Arts, Houston / Yale University Press, 2015.2)

論文 展評「放水路 大西みつぐ」/『アサヒカメラ』(朝日新聞出版、2014年8月)

論文 「その写真は私たちをどこに連れていくのか」/村越としや写真集『火の粉は風に舞い上がる』(リプロアルテ、2014年9月)

論文 「A Short Study on BAU」/写真集『KONTRAPUNKT BY TAKASHI SUZUKI』(Trademark Publishing、2014年9月)

作品解説 「近代美術の眼 林忠彦《太宰治》」／『読売新聞』（都内版、2014年7月11日）

作品解説 「近代美術の眼 奈良原一高《「王国」より 沈黙の園》」／『読売新聞』（都内版、2014年12月12日）

展覧会カタログ／「「王国」について」／「奈良原一高 王国」展

発表 ヒルサイドテラス・フォトフェア連続トークセッション／ヒルサイドテラス・フォトフェア(会場：代官山蔦屋書店、2014年9月6日)

発表 トークイベント「インドで写真のことを考えた～エリックのスナップショットをもっと知る～」ERIC×増田玲／ERIC写真展「Eye of the Vortex / 渦の眼」(会場：ガーディアン・ガーデン、2014年9月19日)

発表 「大型化する現代写真作品の展示と保存：『アンドレアス・グルスキー』展などの事例をめぐって」／平成26年度画像保存セミナー(日本写真学会)(会場：東京工芸大学、2014年11月7日)

発表 「何故、我々はそこに風景を見るのか？」／吉岡さとの写真展「Sciencescape-科学が押し開く新しい風景」(会場：瑞雲庵、2014年11月8日)

発表 トーク「写真と写真集の関係」／アートフェア東京2015(会場：東京国際フォーラム、2015年3月21日)

◆松本透

論文 戦後日本美術の歴史と現在／『美術フォーラム21』30号(醍醐書房、2014年11月30日)

論文 美術館は作品を展示すれば足りるのか？／『NACT Review 国立新美術館研究紀要』1(2014年11月28日)

論文 「人工と楽園—進藤環のコラージュ」／『飛び越える、道をつないで進藤環』(ハモニカボックス、2014年7月18日)

論文 「境界と全体—二木直巳の《見晴らし台》について」／「二木直巳 眺望を求めて—小杉放庵とともに—」展図録(小杉放庵記念日光美術館、2014年8月)

論文 「審査講評」／「FACE展2014 損保ジャパン美術賞展」図録(損保ジャパン東郷青児美術館、2015年2月)

論文 作品の社会性／「まなざしを織る」展カタログ(アートプログラム青梅実行委員会、2015年3月)

発表 基調報告「作品の社会性」／アートプログラム青梅実行委員会、シンポジウム「まなざしを織る」(会場：青梅市立美術館、2014年11月8日)

発表 司会「第2部 教育と美術批評をめぐって」／美術評論家連盟、シンポジウム「いま変容と対峙する：情報と批評/教育と批評」(会場：東京国立近代美術館 講堂、2014年11月30日)

◆水谷長志

論文 「JALプロジェクト2014：公開ワークショップ＜報告＞」／『カレントアウェアネス-E』274号(国立国会図書館、2015年1月22日)

論文 『公開ワークショップ「日本美術の資料に関わる情報発信力の向上のための提言」報告書』／JAL2014「海外日本美術資料専門家(司書)の招へい・研修・交流事業」主催、共著共編(2015年3月31日)

発表 「MLA連携の起源とLにおける効用を考える」／第2回埼玉新県立図書館在り方検討有識者会議(会場：さいたま市民会館うらわ、2014年5月29日)

発表 「IFLA美術図書館分科会 パリ・サテライト・ミーティング 12-14

August, 2014 報告 'Crisis of art bibliography'後の動向 一側面／世界の図書館、フランスの図書館は今—IFLAリヨン大会報告セミナー(会場:日仏会館、2014年10月4日)

発表 基調報告／「JAL2014「海外日本美術資料専門家(司書)の招へい・研修・交流事業」主催公開ワークショップ「日本美術の資料に関する情報発信力の向上のための提言」(会場:東京国立近代美術館、2014年12月11日)

発表 「海外日本美術資料専門家(司書)の招へい・研修・交流事業(JALプロジェクト2014)その準備から展開へ—JALとの交流とこいま見られる日本の課題」／アート・ドキュメンテーション学会第51回デジタルアーカイブサロン(会場:科学技術館、2015年1月9日)

発表 JAL 2014 and beyond: centering on the open workshop for “Recommendations for More Effective Dissemination of Information on Japanese-Art-Related Materials” in Tokyo, 2014／5th International Symposium on Japanese Studies (会場: Center for Japanese Studies, University of Bucharest、2015.2.28)

発表 「外から見る日本の美術情報資料の現在—在外日本美術資料専門家(JAL)からの提言」／平成26年度全国美術館会議第29回学芸員研修会(国立西洋美術館講堂、2015年3月9日)

◆三輪健仁

論文 「土田麦僊《島の女》再考—[その1]部分と全体」／『現代の眼』609号

論文 「ウワサの信憑」／『core of bells 怪物さんと退屈くんの12カ月』ウェブサイト(2014年7月17日)

論文 「対談 村川拓也アーティストトーク ドキュメンタリー映画のように演劇を作ってみること」／『京都文化芸術』オフィシャルサイト Kyoto Art Box (2015年1月26日)

論文 作家推薦文「奥村雄樹」／「VOCA展 2015 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」図録(「VOCA展」実行委員会 公益財団法人日本美術協会・上野の森美術館、2015年3月14日)

展覧会カタログ／《落葉》の『無-地(non-ground)』について／「菱田春草展」

発表 村川拓也 アーティストトーク (対談)／KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2014 (会場:京都芸術センター、2014年10月6日)

発表 映像とアートの境界線をめぐるプロブレマティーク (対談)／COVERED TOKYO / NIKKEI ART LOUNGE (会場:渋谷ヒカリエ、2014年11月7日)

◆渡邊美喜

論文 「研究会「アート・アーカイヴの諸相」に参加して」／『アート・ドキュメンテーション通信』101号(アート・ドキュメンテーション学会、2014年4月)

◆今井陽子

論文 「新しいコレクション 佐々木苑子《絵紺着物風の香》」/『現代の眼』605号

論文 [On view] 繰り返す型の造形思考：所蔵作品展「こども＋おとな工芸館 もようわくわく」/『現代の眼』606号

論文 子どもと一緒に工芸鑑賞：「もようわくわく」展の試み/『現代の眼』610号

論文 工芸(第4章～第7章)/『日本の20世紀芸術』(平凡社、2014年11月15日)

論文 How to appreciate cloth: the pleasure of enjoy nuno / Reiko Sudo + NUNO (The Mississipi Valley Textle Museum, Ontario, 2014年7月)

論文 築城則子の縞/『築城則子一縞の今一：小倉織復元30周年』(北九州市立美術館、2014年9月)

論文 福本潮子の青/『福本潮子作品集 藍の青』(赤々舎、2015年3月)

展覧会カタログ 「もようわくわく おとなセルフガイド」/所蔵作品展 こども＋おとな工芸館 もようわくわく

展覧会カタログ 「もようわくわく こどもセルフガイド」/所蔵作品展 こども＋おとな工芸館 もようわくわく

展覧会カタログ 「第V章 現代の工芸」、コラム「ファイバーワーク」/所蔵作品展 近代工芸案内 名品選による日本の美

◆唐澤昌宏

論文 「新しいコレクション 岡部嶺男《青織部縄文鼎》」/『現代の眼』606号

論文 On view 青磁のいま—受け継がれた技と美 南宋から現代まで「後記」/『現代の眼』608号

論文 「青磁のいま—受け継がれた技と美 南宋から現代まで」展の開催に寄せて/『陶説』738号(日本陶磁協会、2014年9月1日)

論文 陶芸公募展レポート「第2回陶美展」/『炎芸術』118号(阿部出版、2014年5月)

論文 「大和保男の陶芸「魂」」/『大和保男展』リーフレット(そごう、2014年6月)

論文 「神谷紀雄の流儀「鉄絵銅彩」と「伝統」」/『神谷紀雄展』図録(三越伊勢丹、2014年7月)

論文 「海外に渡った工芸美術品の歴史と現在」/『アートコレクターズ』67号(生活の友社、2014年10月)

論文 「「深まり」を感じる作陶—伊藤栄傑さんの個展に寄せて」/『伊藤栄傑展』図録(三越伊勢丹、2014年10月)

論文 アートダイアリー05：青磁のいま—受け継がれた技と美 南宋から現代まで/『文化庁広報誌 ぶんかる』(文化庁Web広報誌、2014年10月2日)

論文 展覧会スポットライト「青磁のいま—受け継がれた技と美 南宋から現代まで」/『炎芸術』120号(阿部出版、2014年11月)

展覧会カタログ 「「青磁」というやきもの」、「青磁」—古陶磁鑑賞から創作への歩み」、章解説、第三章作家解説/「青磁のいま—受け継がれた技と美 南宋から現代まで」

展覧会カタログ 「第IV章 伝統工芸」コラム「文化財保護と重要無形文化

財保持者(人間国宝)」「伝統工芸—現代」/所蔵作品展 近代工芸案内 名品選による日本の美

発表 「工芸からKŌGEIへ」展から～あらためて「KŌGEI」を考える～/日本工芸会東日本支部(会場:江戸東京博物館 大会議室、2014年6月1日)

発表 シンポジウム「第10回国際陶磁器展美濃審査員による」/国際陶磁器フェスティバル美濃'14(会場:セラミックパーク美濃 国際会議場、2014年7月20日)

発表 トークイベント「宮田亮平展—海へ—」/LIXILギャラリー(会場:LIXIL:GINZA、2014年12月20日)

発表 対談「大和保男の陶芸」/「大和保男展」(会場:イオンモール岡崎、2014年8月24日)

◆木田拓也

論文 「花展を準備しながら考えたこと—二代横山彌左衛門の《菊花文飾壺》/『現代の眼』605号

論文 「新しいコレクション 石黒宗麿《失透釉茶碗》/『現代の眼』608号

論文 勝見勝のめざしたもの:東京オリンピックの視覚伝達システム/『デザイン理論』65号(意匠学会、2015年2月28日)

論文 書評『東西文化の磁場:日本近代の建築・デザイン・工芸における境界的作用史の研究』/『デザイン史学』12号(デザイン史学研究会、2014年8月9日)

論文 板谷波山がめざしたもの/『出光美術館館報』167号(出光美術館、2014年5月31日)

論文 工芸(序章～第3章)/『日本の20世紀芸術』(平凡社、2014年11月15日)

論文 往還する東と西:日本の工芸とヨーロッパのデザイン/『アール・ヌーヴォーとアール・デコ:ヨーロッパのデザインと工芸』(横須賀美術館、2014年4月26日)

論文 『工芸とナショナリズムの近代:「日本的なもの」の創出』(吉川弘文館、2014年8月10日)

展覧会カタログ 「第三章 日展、オブジェ、クラフト」コラム「万国博覧会と美術工芸」/所蔵作品展 近代工芸案内 名品選による日本の美

展覧会カタログ 大阪万博1970デザインプロジェクト——「人類の進歩と調和」をめざして/大阪万博1970デザインプロジェクト

展覧会カタログ 大阪万博1970デザインプロジェクト 解説、年表、文献/大阪万博1970デザインプロジェクト

発表 The Formation of the Concept “Oriental Ceramics” (Toyo-toji): The Collection and Research of Chinese and Korean Ceramics in Japan 1920s-30s/Association for Asian Studies Annual Conference (会場:Sheraton Chicago、2015年3月28日)

発表 小山富士夫の現代陶芸へのまなざし:古陶磁と伝統工芸のはざま/東洋陶磁学会平成26年度第5回研究会(会場:学習院大学、2015年1月10日)

発表 近代日本における<工芸>ジャンルの成立:工芸家がめざしたもの/近代日本美術史と近代中国(シンポジウム)(会場:清華大学(北京)、2014年11月23日)

発表 工芸家が夢みたアジア:<東洋>と<日本>のはざままで/近代日本美術史と近代中国(シンポジウム)(会場:中国社会科学院文学研究所(北京)、2014年11月22日)

発表 アール・ヌーヴォー、アール・デコと日本の工芸:往還する東と西/「アール・ヌーヴォー、アール・デコと日本の工芸」展講演会(会場:安曇

野高橋節郎記念美術館、2014年8月30日)

発表 勝見勝のめざしたもの：東京オリンピックの視覚伝達システム／意匠学会第56回大会(会場：お茶の水女子大学、2014年7月26日)

発表 昭和戦前期の『工芸美術』概念の朝鮮への輸出／「日本における『美術』概念の再構築—語彙と理論にまたがる総合的研究—」(科研A) 公開研究会(会場：金沢美術工芸大学、2014年6月14日)

発表 Transplanting the Concept of Art-Crafts (*bijustu-kogei mi-sul-gong-ye*) from Japan to Korea in the 1930s/1920-45 Inter-Asia Design Assimilation: Translations, Differentiations and Transmission (会場：Design Museum, London、2014年5月30日)

発表 Koyama Fujio's View of Contemporary Ceramics: A Man Who Made "Living National Treasure" / Ceramics, Art, and Cultural Production in Modern Japan (会場：Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures, Norwich, England、2014年5月23日)

発表 アール・ヌーヴォー、アール・デコと日本の工芸：往還する東と西／「アール・ヌーヴォー、アール・デコと日本の工芸」展講演会(会場：横須賀美術館、2014年5月10日)

◆北村仁美

論文 「新しいコレクション 北原千鹿《羊》」／『現代の眼』607号

論文 『相照らす場の創出』／『民族藝術』第31号(民族藝術学会、2015年3月30日)

論文 アートダイアリー09：小さなジュエリーに凝縮されたダイナミックな空間性／『文化庁広報誌 ふんかる』(文化庁Web広報誌、2015年2月4日)

展覧会カタログ コラム「日本のクラフト」「民藝と個人作家」「オブジェの系譜」「モダニズムの工芸家たち」／所蔵作品展 近代工芸案内 名品選による日本の美

展覧会カタログ 「中村ミナトのジュエリー：ジュエリー⇄彫刻」／中村ミナトのジュエリー：四角・球・線・面

展覧会カタログ 「中村ミナト 年譜、文献、目録」／中村ミナトのジュエリー：四角・球・線・面

発表 「ローカリティーの高い文化資源の効果的な展示法について」／平成26年度博物館学芸員専門講座(会場：国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター、2014年12月11日)

◆内藤裕子

論文 「新しいコレクション 二十代堆朱楊成《彫漆硯箱 玄鶴》」／『現代の眼』608号

論文 東京国立近代美術館工芸館「近代工芸案内一名品選による日本の美」から「羊置物」／『読売新聞』夕刊(都内版、2015年1月13日)

展覧会カタログ 作家索引／主要作家解説／所蔵作品展 近代工芸案内 名品選による日本の美

展覧会カタログ 「もようわくわく おとなセルフガイド」／所蔵作品展 こども+おとな工芸館 もようわくわく

◆諸山正則

論文 On view 所蔵作品展 近代工芸案内一名品選による日本の美「後記」／『現代の眼』609号

論文 新しいコレクション 吉田源十郎《柘榴之図乾漆硯箱》／『現代の眼』610号

論文 アートダイアリー08：所蔵作品展「近代工芸案内一名品選による日本の美」／『文化庁広報誌 ふんかる』(文化庁Web広報誌、2015年1月6日)

論文 Traditional Japanese *KOGEI*／『Beauty of KOGEI Art Crafts in Japan』展パンフレット(シンガポールJCC、国際交流基金アジアセンター、2014年5月31日)

論文 黒田泰蔵 白磁 寸感抄／『黒田泰蔵 白磁』(求龍堂、2015年3月13日)
展覧会カタログ 年表、作品解説／所蔵作品展 近代工芸案内 名品選による日本の美